

ヒアンシー…寝る前のホットミルクに、
ちよっと細工をしておいたから…
もうぐっすり夢の中だね

ごめんね、ヒアンシー…
今から本当の君に触れるよ…





のんびり……音をたてながら……
ヒュン……君の……中……

くち…♡

…ッ、ああ…これこそが…
俺の、望みだった…

くちゅ♡

くち…♡

こんなにも無垢で慈愛に満ちた
ヒアンシーの寝顔なのに……
俺が体の中から穢す行為をしている……

……うう、その背徳感が
俺をさらに興奮させる……
たまらない……

ゼン……♡

んん。

にゅふ。

にゅふ……♡

3.0

3.0

もし、今にアレンシーが目覚めたら...
どんな顔で俺のことを見てくれるんだろうな...

...その想像だけで、
もう、限界...ッ、うあ...イクッ...



ッ…ヒアッシー、君の奥が…
反応している…？

まさか…あの薬程度じゃ完全に効か
ない…とも言うのか…？

ふっしゅ
ッ

ぽんぽん
ッ

どっ
ッ

どっ…♡
ッ











